





























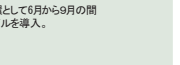


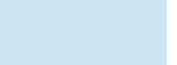


沿革（経済・環境・社会的パフォーマンスの歴史）

	経済的パフォーマンス	環境パフォーマンス	社会的パフォーマンス
昭和30年代（1955～64）	<p>兵庫県生野町で山産産業を創業。塩素減産事業を開始。</p> <p>昭和31年（1956）</p> <p>日本浄水設備工業を設立。吸入式塩素減産機の製造販売などを目的に、生野町に本社、大阪に事業本部を置く。</p> <p>昭和32年（1957）</p> 		
昭和40年代（1965～74）	<p>定量注入ポンプ第1号機を商品化。</p> <p>日本フィーダー工業株式会社を設立。</p> <p>昭和40年（1965）</p> <p>昭和41年（1966）</p> <p>昭和44年（1969）</p> <p>兵庫県東部郡生野町に本社工場を新設。</p> <p>昭和45年（1970）</p> <p>計測機器の製造販売を開始。</p> <p>昭和46年（1971）</p> <p>業務拡張に伴い、事業本部、大阪営業部を現本社住所に移転。</p>   		<p>定量注入ポンプ「フィーダー」東京都食品衛生協会推奨品第1号、日本食品衛生協会推奨品第1号となる。</p> <p>定量注入ポンプ「フィーダー」全国簡易水道協会推奨品第1号、日本学校保険会推奨品第1号となる。</p>
昭和50年代（1975～84）	<p>計測制御技術を中心とした液体コントロールシステム事業を開始。</p> <p>昭和50年（1975）</p> <p>昭和51年（1976）</p> <p>昭和52年（1977）</p> <p>昭和54年（1979）</p> <p>昭和55年（1980）</p> <p>経量・コンパクト・長寿命のプロセス定量ポンプを商品化。</p> <p>水晶振素子を利用した画期的な電磁駆動方式の定量/バルブポンプを商品化。</p> <p>昭和58年（1983）</p> <p>「オーダーメイド感覚の定量ポンプづくり」を企業テーマに、無脈動定量ポンプ、サンタリー定量ポンプなどを商品化。</p> <p>昭和59年（1984）</p>    	<p>公害防止という社会のニーズに応え、PH中和調整記録装置を開発。</p> <p>大阪府新技術製品開発研究補助制度の対象として、管内連続PH制御装置を開発。</p> 	<p>PR誌「じいんど」創刊。</p>  <p>国際交流の一環として、第1回「カッセル留学生の集い」を開催（以後毎年1回開催）</p> 
昭和60年代（1985～89）	<p>西ドイツ（当時）DEPA（デーパ）社との販売提携に基づき、エア駆動ダイヤフラムポンプの輸入販売を開始。</p> <p>日本フィーダー産業工場増設・新社屋完成。ケミカルボトリを設ける。</p> <p>昭和61年（1986）</p> <p>昭和63年（1988）</p> <p>日本初、pH計と定量ポンプを一体化したpH計内蔵定量ポンプを商品化。</p>   		<p>小型定量ポンプCXシリーズが、グッドデザイン賞を受賞、定量ポンプ初のGマーク選定商品に。</p> 
平成元年代（1989～97）	<p>ウェルネス事業部を設置。</p> <p>日本フィーダー産業（株）と合併。</p> <p>平成3年（1991）</p> <p>ドイツMUNSCH（ムンシュ）社との販売提携に基づき、樹脂製耐酸ポンプの輸入販売を開始。</p> <p>生産本部に工場増設（第2工場）</p> <p>平成4年（1992）</p> <p>商号を株式会社タクミナに変更。新シボルマーク採用。</p>  	<p>PR誌JOINT誌上で、「技術講座」をスタート。（年4回発行）</p> 	<p>社内での取り組みについては、人材を「人材」、教育については「共有」という言葉を使い始めた。</p> <p>春・秋の全国交通安全運動中の交通立ち番スタート（以後毎年実施）</p>
平成5年（1993）	<p>平成6年（1994）</p> <p>平成7年（1995）</p> <p>平成8年（1996）</p> <p>生産本部第3工場竣工。</p> <p>平成9年（1997）</p> <p>総合研究開発センターを設置。</p>  	<p>PR誌JOINT誌上で、「地球環境は今」をスタート。（年4回発行）</p> 	<p>阪神・淡路大震災に際し、神戸大学蔵を通じて留学生の方向に男女用の下着を提供。社員・当社協力会（協力企業親）から義捐金。</p> <p>当社山田会長が日刊工業新聞社より、「中堅・中小企業優秀経営者顕彰」を受賞。</p> <p>生産本部がISO9002の認証を取得。大証二部に株式上場。国土庁等選定の「地域活性化貢献特別賞」を受賞。</p>  
平成10年代（1998～2000）	<p>平成10年（1998）</p> <p>平成11年（1999）</p> <p>平成12年（2000）</p>  	<p>ECO推進チーム発足</p> <p>内部環境監査員養成。生産本部がISO14001の認証を取得。</p> <p>化学物質受け入れ管理手続を規定。地球温暖化防止但馬地域フォーラム（兵庫県主催）に事業所代表パネラーとして出席、発表。</p> 	<p>定量/バルブポンプPXシリーズグッドデザイン賞を受賞、Gマーク選定商品に。</p> <p>生産本部がISO9001の認証を取得。</p>  

	経済的パフォーマンス	環境パフォーマンス	社会的パフォーマンス
平成10年代（2001～07）	<p>平成13年（2001）</p> <p>多目的工場・夢工房テクニカ（Technica）竣工</p>  <p>平成14年（2002）</p> <p>シンガポールに東南アジア地域駐在員事務所を開設</p> <p>東京支店を東京支社に改組</p> <p>平成15年（2003）</p> <p>浴槽水・温泉水のレジオネラ対策用として業界初の二酸化塩素発生・注入装置ニューロキン21を発売。</p> <p>世界初、吐出量自動補正機能付定量ポンプPZIIシリーズを商品化。</p>   <p>平成16年（2004）</p> <p>業界初、ポンプ制御機能を搭載した残留塩素計を商品化。</p> <p>平成17年（2005）</p> <p>世界初のポンプ機構を持った「無脈動定量移送ポンプ」APLシリーズ発売。</p>   <p>東京支社を飯田橋に移転。ショールームを併設。</p> <p>大容量高機能型ソレノイド駆動定量ポンプPZIIシリーズ発売。</p>  <p>平成18年（2006）</p> <p>ドイツにヨーロッパ駐在員事務所を開設。</p> <p>無脈動ポンプシリーズの新ブランド「スムーズフロー」の立ち上げ。</p>  <p>次亜塩素酸ナトリウム専用ガスワッレスポンプGLXシリーズ発売。</p>  <p>平成19年（2007）</p> <p>弱酸性次亜水生成装置サラファイン発売。</p> <p>生産本部ショールーム開設。</p>   <p>スムーズフローポンプBPLシリーズ発売。</p>  <p>スムーズフローポンプPLSIIシリーズ発売</p>  <p>平成21年（2009）</p> <p>次亜冷却ユニットHシリーズ発売</p>  <p>弱酸性次亜水生成装置サラファインSタイプ発売</p> 	<p>環境対策の一環として、カタログ・取説・PR誌JOINTの印刷を大豆油インキに切替。</p> <p>第1回環境ボランティアを実施。以後毎年1回実施</p> <p>PR誌JOINT誌上で、「環境ウォッチャー」をスタート。（年4回発行）</p>   <p>環境ビジネスレポートECO-WEEK（コロジ-経営研究所発行：週1回）の社内イントラネット掲載をスタート。</p>  <p>ソレノイド駆動定量ポンプのダイヤフラム寿命が10,000時間に（従来比2.5倍）</p> <p>リサイクル可能な耐食性PVDF製ポンプヘッド（Eヘッド）をラインナップ。</p>  <p>台風23号により被害を受けた豊岡市の復旧に、災害ボランティアとして参加。体験的研修のための移動展示車「動くポンプ工場」始動。</p> 	<p>大阪支店がISO9001の認証を取得。</p> <p>ソレノイド駆動定量ポンプPZIIシリーズ、グッドデザイン中小企業庁長官賞を受賞。Gマーク選定商品に。</p>  <p>高精度定量ポンプTPLシリーズグッドデザイン賞を受賞。Gマーク選定商品に。</p>  <p>社員間の「さん付け運動」開始</p> <p>西日本営業本部がISO9001の認証を取得。</p> <p>東日本営業本部がISO9001の認証を取得。</p> <p>レジオネラ情報をホームページに掲載。</p>  <p>生産本部・営業本部・本社（一部除く）についてISO9001の2000年度版の認証取得</p>  <p>モータ駆動定量ポンプCSIIシリーズグッドデザイン賞を受賞。Gマーク選定商品に。</p>  <p>台風23号により被害を受けた豊岡市の復旧に、災害ボランティアとして参加。体験的研修のための移動展示車「動くポンプ工場」始動。</p>  <p>タクミナが日本科学技術連盟内QCサークル近畿支部兵庫地区の幹事会社に任命。QCサークル指導士資格認定試験に合格。</p>  <p>無脈動定量移送ポンプAPLシリーズグッドデザイン賞を受賞。Gマーク選定商品に。</p> 
平成20年代（2008～）	<p>平成20年（2008）</p> <p>本社・大阪支店移転。</p> <p>スムーズフローポンプPLSIIシリーズ発売</p> <p>平成21年（2009）</p> <p>次亜冷却ユニットHシリーズ発売</p> <p>平成22年（2010）</p> <p>弱酸性次亜水生成装置サラファインSタイプ発売</p> 	<p>CO<sub>2</sub>削減の一環として6月から9月の間クールビズスタイルを導入。</p> <p>簡易リリーフ付ダイヤフラム定量ポンプ（次亜塩素酸ナトリウム注入用）を発売。</p>    <p>簡易リリーフ付ダイヤフラム定量ポンプグッドデザイン賞を受賞。Gマーク選定商品に。</p>   	<p>0Qサークル近畿支部兵庫地区の幹事長会社に任命。</p> 